



この街で生きていく！
快適なライフスタイルのための情報満載！！
新しい「としまの広報」

さくらんぼ



この街で生きていく！
 快適なライフスタイルのための情報満載！！
 新しい「としまの広報」



チーム：さくらんぼ



2014.12.11

メンバー：山田、ふじさわ、佐々木、宮谷

1. 媒体ごとの問題とテーマ設定

①「広報としま」について

《テーマ》
情報弱者への広報紙
 (高齢者・ネット不使用者)

- ・配布方法の見直し
- ・若年層の広報紙への関心が薄い
→テーマ・表現・デザインの刷新
- ・**経費が安くても読まれなかったら意味がない**
- ・情報量が多すぎ→内容の精査を

②ホームページ

《テーマ》
**人の顔が見える
 親しみやすい
 ホームページへ**

- ・全面リニューアル作業中
- ・相談窓口の見える化
→設備や担当者の写真掲出
- ・取材力の強化
→一般人からの情報を反映
→区民レポーターとして外国人採用
- ・英語/中国語での生活に密着した情報発信

③SNS (FB・LINE等)をどこまで活用するのか(ターゲット設定など)

2-1. 現在の「広報誌としま」について



表紙はとっても可愛く、
文字やレイアウトも見やすく、
上から下まで全部読める感じ。

しかし！

中面は
文字がギッシリ

文字が小さい

見づらい

可愛い表紙との
ギャップが激しい



2-2. 参考にした他の市区町村(神戸市)

※文字は小さいものの、イラストが多く、書いてあることがわかりやすい
※枠でくくられているため、拒否反応なく読み進めることが可能
(神戸市の広報紙の2-3面の抜粋。広報サイズはA4で冊子タイプ)



2-3.これからの「広報としま」について

- ①女性うけする表紙
- ②楽しめる内容
- ③整理された情報

広報紙は、
手に取ってもらってからがスタート

表紙は広報紙の顔

- ・区のキャラクターなどが登場するなど、華やかに
→広報紙用にキャラクターを作ってもよいかもしれません
- ・どんな情報が掲載されているかの目次を簡潔に（目玉の3～4項目）

読みやすい中面

- ・広報紙を読む方は年配の方も多いため、文字サイズは大きめに、イラストなどでわかりやすく
- ・通常の新聞紙とは異なるレイアウトで
- ・内容を増やすならページ数を増やして見やすく
8ページ→12ページなど

情報は画像入りで

- ・イベント情報は、文字だけではなく、写真やイラストで視覚に訴えて
- ・区民ひろばなどの相談会の案内には、どんな人が相談にのってくれるかの顔写真入りで
- ・施設の写真や内容を入れることで認知度アップへ

3-1.「ホームページ“顔の見える化”」について

①どんな場所で②どんな人が③どんな相談に乗ってくれるのかこの3点がわかるだけで、区民にグッと近づいた内容になるのではないのでしょうか？

「安心」して「相談できる」、「気軽」に「話をきいてもらえる」が大切

「〇〇〇〇〇」相談窓口

〇〇〇〇〇の国家資格を持つ職員が〇〇名おり、安心してご相談いただけます。ちょっとしたご相談でもお気軽にお立ち寄りください。



《今月の相談会スケジュール》

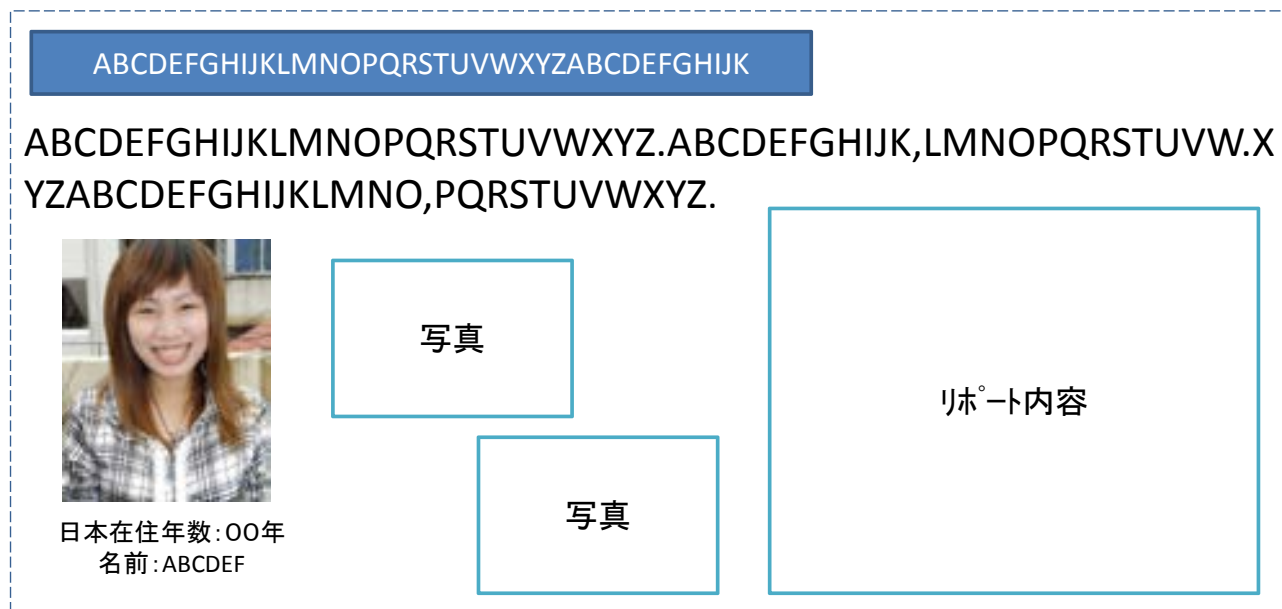
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～
- ・〇月〇日(▽) 午後〇〇時～



3-2.「ホームページ“外国人向け広報”」について

外国人にリポーターを依頼。豊島区に住んでいる外国人が本当にほしい情報を発信。発信内容については、区の広報担当が内容を確認。

- ・発信内容→スポーツイベント、地域イベント、お祭りなど
- ・外国人視点から見た豊島のことをリポートして掲載



3-3.「ホームページ」について

- ①親しみやすさ
- ②整理された情報
- ③目的地まで迷子にならず辿り着く

親切なホームページでアクセス数を増やし、としまファンを獲得

1. 顔の見える化

- ・相談窓口の見える化
→相談室の様子がわかると不安減少
→相談担当者の顔がわかれば安心感アップ
- ・区民リポーター制度
→豊島区大好きな人に登録いただき、区内のイベントなどリポートしてもらいHPにアップ

2. 外国人向け広報

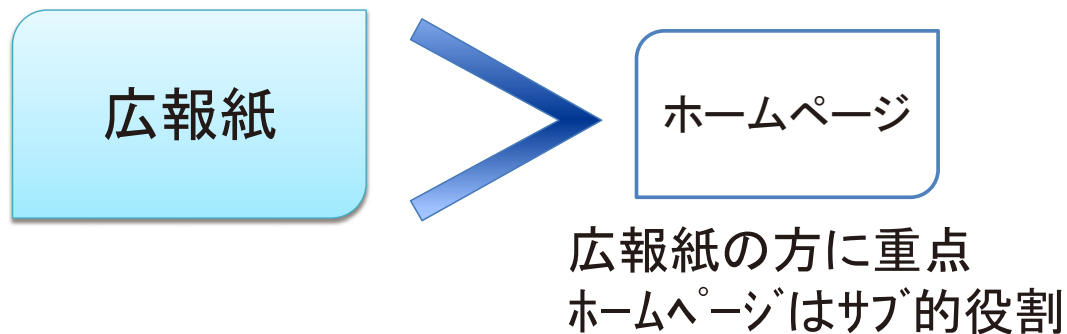
- ・外国人に向けた情報発信
→豊島区在住の外国人をリポーターとして登録(委託?)
→外国人目線で本当にほしい情報を掲載
→英語・中国語

3. 迷子にならない

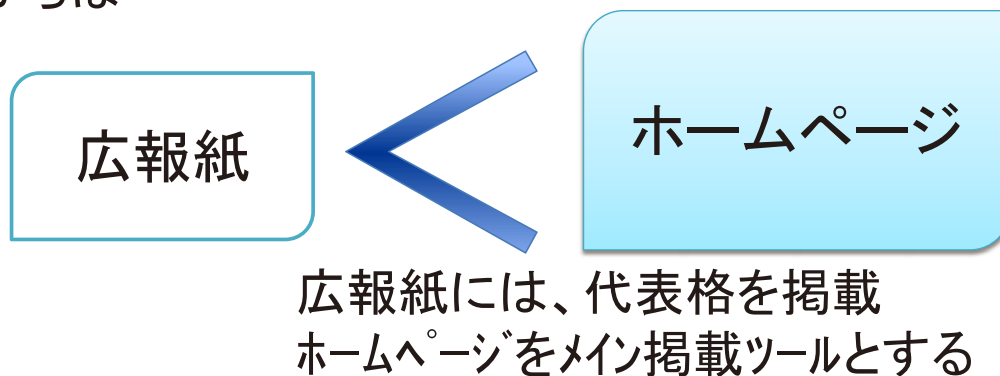
- ・現在、ホームページリニューアルについて、すでにお取組みいただいているため、特に意見はございません。
- ・ただし、左記の内容を追加いただけるなら幸いです。

4.「広報としま」と「ホームページ」の位置づけ

従来(これまで)

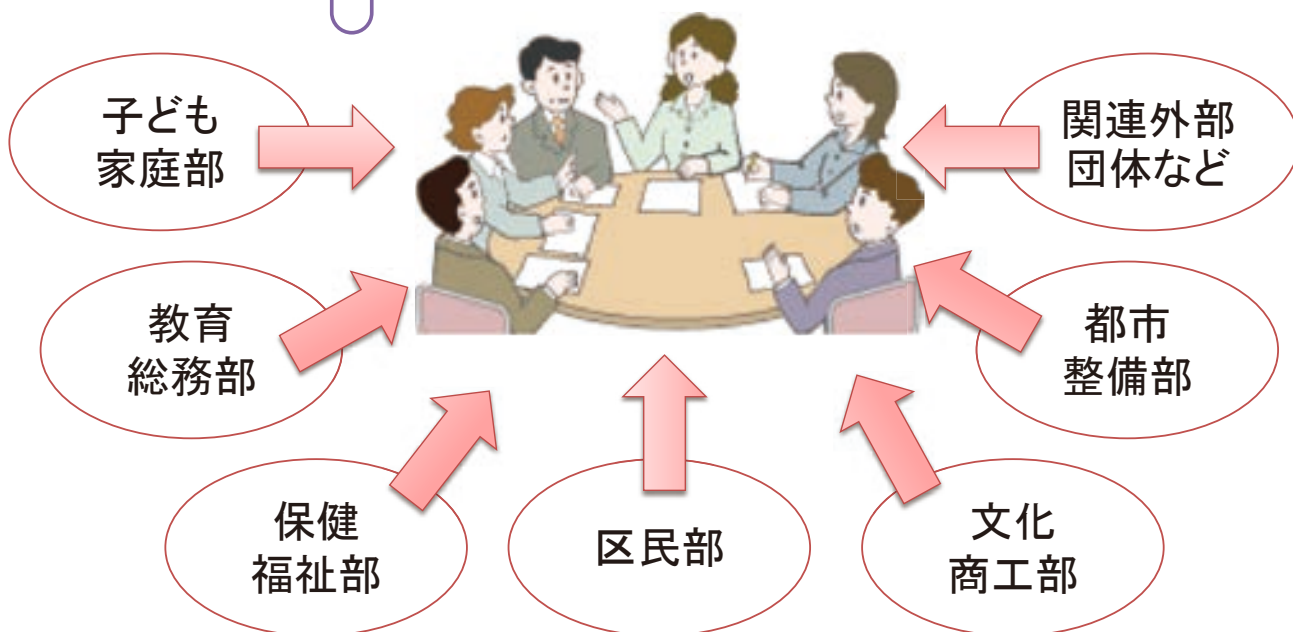


これからは……



5-1. 広報のためのブレスト 定例化

各部からの
持ち寄り情報の交通整理の場



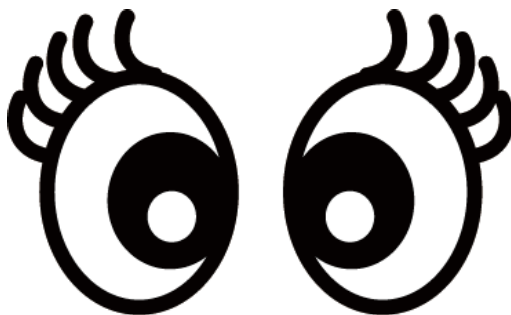
5-2.「広報としま」

見やすい
レイアウト
(女性受け)

**広報紙は
手にとってもらうことがスタート**
※読まれなかったら、経費の無駄使い

親しみ
やすさ

大きな
文字



サイズは
A4冊子版

顔写真
施設写真
イラスト

女性ター
ゲットの
特集紙面

子育て

介護

ワークライ
フバランス

5-3.「ホームページ」

整理
された
情報

**欲しい情報(目的地)まで
迷わず辿りつけるホームページ**
※リニューアルHPに期待

外部リン
ク先の情
報チェック
体制

子育て代
への
情報拡充



区民
リポーター
制度

顔写真
施設写真
イラスト

外国人向
けの情報
発信

5-4. 広報担当を頂点としたブレストの定例化

毎月、各部の代表者が集まり、
 広報掲載希望の情報やイベントなどの情報をもちよる場を設ける
 ・その中から「テーマ」を策定し、特集ページの内容をブレスト
 ・詳細な情報が必要な場合は、各担当者に情報提供を求める

広報誌	ホームページ
整理された情報	整理された情報
大きな文字	相談窓口の見える化
画像入りでわかりやすく	「広報としま」のバージョンアップ版
弱者に強い広報紙に	迷子にならないで辿り着けること
女性のためのページ作成 →女性が住みやすい街を目指す ・子育て、介護、ワークバランスなど	外部などのリンク先の内容についても 分かりやすい内容になっているかの チェック体制の整備
テーマに基づいた内容を掲載	区民リポーターの採用など区民目線

チーム名	さくらんぼ
メンバー	山田亜紀子 / 佐々木久美 / ふじさわ愛子 / 宮谷美智子
検討テーマ	としまの広報について ～見やすいホームページ・広報紙の作成～
活動状況	<p>主なミーティング実施日：</p> <p>8月18日(月)15:30～ カフェで第一回目の確認会</p> <p>9月 9日(火)15:30～ 区役所にて広報課矢作課長とミーティング</p> <p>9月26日(金)10:00～ メンバー宅で第二回目の対策会議</p> <p>10月10日(金)13:00～ メンバー宅で第三回目の対策会議</p> <p>12月 2日(火)18:00～ 区役所にて事前ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考広報紙の手配：神戸市北区へ最新の広報紙をいただけるよう依頼(12月) ・資料作成は、ミーティングで出た意見を反映させながら作成し、随時修正 <p>《総括》</p> <p>広報誌、インターネットという切り口で、また役所内での担当部署の連携など、全般的な改善の手法を提案事項の主とした取り組みを実施。しかし、「子育て」一つをテーマとしても、実際に子育てをしている家庭、これから子育てを始めようとしている世代、子育てをサポートしたい高齢世代など、ターゲットを明確にしてどのように情報を伝えていくかと考えると、より“戦略的な”広報を目指す必要性もあると感じました。</p>



感想

12月17日(水)夜、豊島区のイタリアンレストランで打ち上げ&プチ忘年会を開きました。

〈山田〉

豊島区に住み子育てをする1人として、情報の受け手として、必要とする情報をタイムリーに、分かりやすく伝えるということはどういうことなのかを考える貴重な時間でした。誰に何を伝えるのか、今後の広報に期待をしております。

また、F1委員としての縁をこれからも大切に、今後共よろしくお祈りします。



〈ふじさわ〉

F1会議での提案は終了しましたが、本当に大切なのはこれからだと思っています。実際に予算を付けて、区の政策として実現してもらえるように引き続き区に働きかけていきたいです。

また、F1会議の携わったことで、向上心と意欲ある沢山の人に出会うことが出来ました。初めは事業の提案までたどり着くのか不安でしたが、参加して本当に良かったと思っています！

〈宮谷〉

7月に開催されたF1女子会に参加し、その後、F1会議メンバーとなったことで、改めて働く地域の「豊島区」について考えるいい機会となりました。自分たちの考えを直接区に伝えられるすばらしいチャンスを与えていただいたことに感謝しています。メンバーとの縁をこれからも大切にしていきたいです。



〈佐々木〉

会議に参加し、各チームの調査結果や課題などを現状把握することで、自身の仕事にも役立てることが出来ました。こういったコミュニティを作ることが、横のつながりを作り、街を盛り上げていくことになると実感しました。貴重な経験をありがとうございました。